

## 平成29年9月17日の台風第18号の影響による 行入ダム防災操作の効果について

### 【速報推計】

九州南部を横断した台風18号の影響により、行入ダム流域では、9月16日3時より降り始め、17日18時までの総雨量は286mmを記録し、時間最大雨量は、53mmを記録した。

このため、行入ダムでは、17日14時24分に流入量が $20\text{m}^3/\text{s}$ に達し、17日16時10分には最大流入量 $43.32\text{m}^3/\text{s}$ を記録した。この時 $43.32\text{m}^3/\text{s}$ をダムに貯留することで田深川の流下量を減少させました。

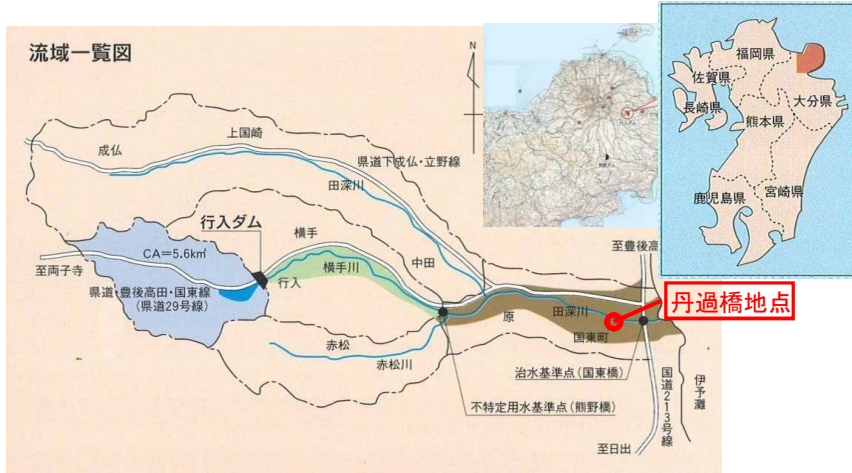
今回の洪水では、行入ダムで流下量を減少させたことで、下流国東町市街地の丹過橋水位観測所では約21cm水位を低下させたものと推測しています。



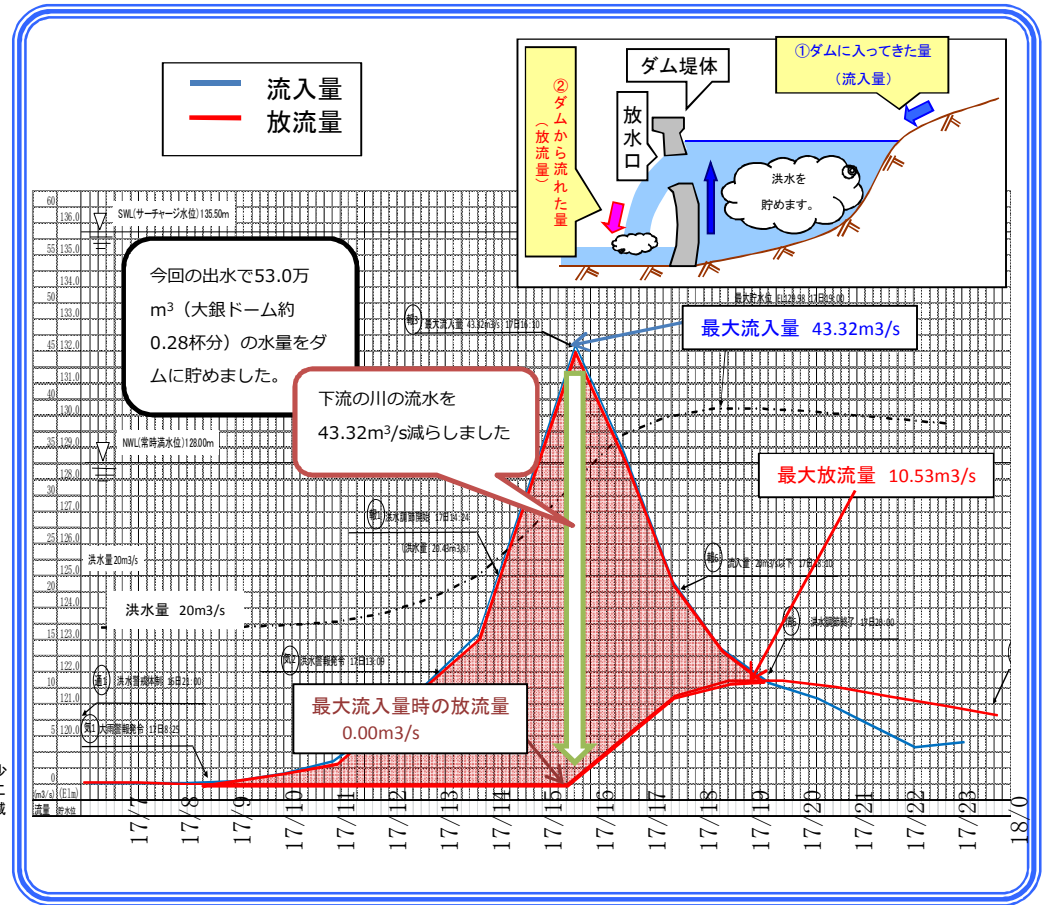
※上記写真は今回の状況ではありません

# 平成29年9月17日の台風第18号の影響による 行入ダム防災操作の効果について

【行入ダム位置図】



【洪水調節実績図(速報値)】



ダムがないと...

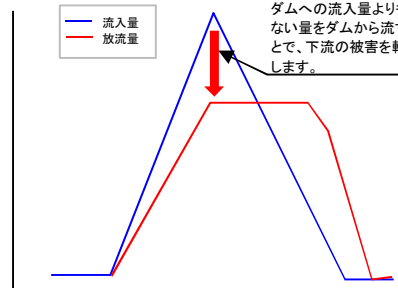
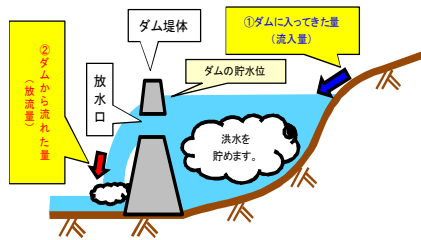


大雨が降ると、川から水があふれてしまいます。

ダムがあると...



大雨で降った雨をダムに貯め、徐々にダムから放流します。



最大流入量43.32m<sup>3</sup>/sのうち、43.32m<sup>3</sup>/sをダムに貯留

# 平成29年9月17日の台風第18号の影響による 行入ダム洪水調節の効果について

## 【 且過橋地点(国東町)での洪水調節効果 】

